

#### ■ 40代・女性

子どもが、中学生、小学生だったので、育児への不安があった。また、金銭的な不安もあった。

---

#### ■ 40代・女性

診断されるまで、何度も病院にかよひ、救急でうったえても、数値が問題ないと帰されました。とても苦しい期間がありました。CRPも2.6で、高い数値があっても、問題ないと言われました。（個人病院では、高いと言われた）もう少し他科との連携をしてほしい。数値が問題なくても、もう少し寄りそった診察をしてほしいと思いました。かなり、ツラかったです。

---

#### ■ 40代・女性

家族が妹のみで、家や土地をどうするとか身元保証とか、相談できるところがほしいです。私はセカンドオピニオン後転院しましたが、●●クリニック→●●(病院名)、サポート体制が違うのでよかったです。問19、20は●●クリニックの内容です。

---

#### ■ 40代・女性

自営で国保に入っているのですが、支払いに主人の収入が関係があるのがなっとくがいかない。結局、高額を払い、自営なので休んでいる間収入もなく、ガン保険に入っていてお金は出ましたが、多額のマイナスです。2人共、社保なら1人だけの収入で計算され、自営で国保なら主人の収入が関係があるのは意味がわからない。

---

#### ■ 40代・不明

がんの原因はストレスが大きいと思っています。私は教員ですが、がんになる前仕事が忙しくストレスフルな毎日でした。このストレスが原因だったと感じています。ストレスをためずに済む人員確保が一番のがん予防ではないでしょうか。滋賀県は教育にお金をかけない県です。教員は疲弊しています。是非とも教員の採用人数を増やしてほしいと思っています。

---

#### ■ 40代・女性

「がん」相談、サロン等、そこに入る勇気がなかった。（がんの自分を隠していたため）。AYA世代で気軽に訪問できる場所が欲しいと思った。

## ■ 40代・女性

私は、血液検査の結果でガンではないか？となり●●(病院名)にみてもらうことになりました。早期発見だったので、今のところは、苦しむこともなく、すごせています。先生やナースさんに感謝しています。

---

## ■ 40代・男性

昨今の日本人の生涯における「がん罹患率」では、「2人に1人が、何らかのがんに罹患する」という推計があるものの、『まさか自分が…』という衝撃が大きく、“生死の不安”よりも日常生活への影響、治療費の支払い（経済的な不安）等の“やや漠然とした不安”が大きかった。幸いにも、自分自身の仕事（介護／福祉分野）や家系（血筋・血統）が『（俗にいう）がん家系』である事から、多からず「がんに対する知識」があったので、必要以上に落ち込んだり、ストレスを感じることはなく、比較的前向きに過ごせていたように思う。また、家族をはじめとし、医療関係者や相談窓口等のサポートがあり、それらを活用できた事も大きかったように思う。したがって、「がん」に対する知識や相談を深められる（得られる）ことの重要性を改めて認識し、そういった支援体制のより一層の充実が「がん患者のサポート」に大きな役割を果たすように思った。

「がん」の予防、早期発見・治療、それらを可能にする医療機関の整備や医療従事者の育成等、医療・療養体制の充実・整備も非常に重要ではあるが、がん患者が自分自身の疾病に対して正しい知識を得ることにできる体制があつてこそ、医療技術や体制を活用できるのだと思う。

---

## ■ 40代・女性

高額医療費制度を利用させてもらっていますが、治療費が高額なため時給のいい、フルタイムパートに変わりました。その時にまた一からの自己負担（所得区分の変更）になってしまい、3ヶ月以上またないと多数該当になりません。マイナンバーを確認してもらえれば、ずっと長年（1年以上）同じ化学治療をしているのがすぐにわかると思います。多数該当をなくしてもらいたいです。

---

## ■ 40代・女性

病院内の体制をしっかりとしてほしい。「がん」と診断されたら、家族ふくめ、カウンセリングを必ず一回はうけてもらうなど、こちらの患者がわがうごくのではなく。初めは、カウンセリングして、そこで理解を心をすこしでもかるくさせて、こんごの治療に、患者がどう向き合っとうごけばよいのか、道しるべをつくった体制にしてほしい。パンフレットわたすだけ、5～10分の説明をその場でするだけ。「がん」といわれて、そこまで聞ける理解できる、よゆうはないです。ネット社会で、「がん」けんさくしたら、いろいろな情報はあつるが、何が正かわからない。何が自分に合つた治療かもわからないです。

#### ■ 40代・男性

治療費だけでなく生活費にも目を向けてほしい。本人は若くして最初の腫瘍摘出手術を受けており（15年程後に再発、悪性へと転換）、保険に入ることもできなかった。今は収入保障などの保険もあるが、加入できない人もいる。治療、介護、子育てにより、全ての経済的負担があり、一年後のことでさえも不安です。本人が一番辛いと思うが家族も辛いという現実を理解してほしい。仕事との両立は、理想であって理想でしかない。病状や仕事の内容などにより、本人が仕事に戻りたいと願っても戻ることもできませんでした。制度、支援ありがたいと思いますが、よりよりそった制度、支援を望みます。このような調査により多くの方の理解を得られますように、より良い社会となることを願います。

---

#### ■ 40代・女性

市の検診で早期発見できたので、無料検診のより充実をすすめて頂きたい。

---

#### ■ 40代・男性

私は2014年と2022年にがんになりましたが、運良く手術で対応でき今は日常生活を支障なく送っています。ただ将来への不安は常に心の中にあります。気軽に相談できる窓口をもっと分かりやすく伝えれば良いと思います。

---

#### ■ 40代・女性

治療する時に高額療養制度がとてもありがたかったです。1回の治療費に数万円かかる事があり、働く事ができない日もあり、すごくありがたい制度だと感じてます。仕事と家庭の両立+ガン治療、子供や夫にもかなり負担をかけてきた事を考えると、今回、健診を受けて発見する事ができ、良かったのかなと思ってます。もう少し発見が遅かったら、もっと周りに迷惑をかけていたと。まだまだ治療にも時間がかかり、色んな点で大変だと思いますが、家事、仕事の両立と治療も無理ないように過ごせていけたらと思っています。

---

#### ■ 40代・男性

がん治療については、国・県・市関係なく、支援していただきたい。経済的理由で治療出来ない方無くしてほしい。

---

#### ■ 40代・女性

治療に伴う後遺症になやまされています 医療機関の中でもう少し相談出来ると良かったと思います。

### ■ 40代・女性

薬の副作用や今後の治療が不安でいっぱいです。お金の心配や子供の学費・治療費心配事が沢山です。治療費等改善できるようにして下さい。宜しくお願いします。

---

### ■ 40代・女性

がん医療や制度・支援について医療者からがんと診断されたときにぐっと入って説明してくれるとよいと思った。こちらから出向いてよい内容なのかわからないこともあるため。認定看護師が抗がん剤治療のところにも外来にも居てくれる安心はあり話しやすかった。乳がん術後の家での療養時の注意点や今までの日々をどのように過ごしてきたかなど入院中のナースが話しをゆっくり聞ける体制があると安心して退院できるのではないかと思った。私は乳がんステージII aで全摘を行った。精神的に友人や家族にとっても助けられた。結果がわかるまでの不安や抗がん剤治療中のしんどいときも家族がいることで支えられてここまで来れたと思う。

---

### ■ 40代・男性

高額医療制度はすばらしく限度額を越えている為44400円で済んでいる。しかし、9年間毎月44400円を払い続け、なお、家族を養っていくのはしんどい。この先いつになれば治療が終わるのかも分からず、身体も、精神も金銭的にも心配。

---

### ■ 40代・女性

経過観察中ですが日々不安で過ごしています。

---

### ■ 40代・女性

がんと診断され自分がこの先どうなっていくのかとても不安でした。看護師さん達がとても優しく丁寧に接してくれ不安な気持ちが和らぎました。（●●病院）想像していた以上に抗がん剤治療にかかる費用が高く驚きました。前もっての説明がほしかったし、もっと医療費の控除があればいいのに…と思いました。仕方のない事なのかもしれないですが主治医の先生が変わる事が多く…新しい主治医の先生になる度にまた1からの信頼関係をつくり、先生に対してどんな風に接すればいいのか毎回悩むのがしんどいです。抗がん剤治療中は、家族に助けをもらいながら毎日を過ごしました。子どもがまだ小学生だったので少し辛い思いをさせてしまったと申し訳なく思いました。これからもがんばっていきたいと思います。

### ■ 40代・女性

ありがとうございます。今回、乳がんに罹患し、入院・検査・手術までにたくさん滋賀県の支援など調べました。少し、がん患者のアピランスケア支援事業が他府県に比べると今の物価高騰においついていない様に思います。そこをもう少し厚く対応してほしいです。どうぞ、宜しく願っています。

---

### ■ 40代・女性

※設問が初めて診察した所なのか、転院した所なのかが分かりにくくてこたえにくかった。

---

### ■ 40代・女性

がんと診断された時、子供3人とも独立していたのと、パート勤務だったことで、治療費に関する不安はなく、良い病院で、素晴らしい医師、看護師さんたちの元で治療を受けることができている。抗がん剤の副作用は想像以上に辛く、半年間で気持ちも沈んだが、手術、放射線、分子標的薬と治療が進み、少しずつ楽になってきていて、頑張ってたよかったです。アンケートにも記入しましたが、脱毛のためウィッグ、帽子を購入しましたが、1つでは足りないことが多く、複数購入したので、もっと充実させてほしい。特に、私のような乳がんはパッドや下着を買い換えるので、下着に対しての助成も希望します。

---

### ■ 40代・女性

「がん」とともに生きるためにどうすればよいか、一緒に考えてくれる行政窓口があればよいと思います。非正規で働き、結局継続雇用できなかったの、退職しました。治療にお金がかかるので、がんでも働かないといけないと思うので就労サポート又は、がんでも働く人の仕事の制度があればと思います。がんとは、一生つきあうものと理解し、自分の体のサインを見逃さないようにして過ごすようにしています。メンタルもやられてしまいそうだったので、入院のたびに相談させていただいてました。支えてくださっている方々に感謝です。アンケートもありがとうございました。少しでもお役に立てれば幸いです。

---

### ■ 40代・女性

治療費は高額療養費のフォローがありますが、それ以外にかかる費用が思いのほか高くなります。ケア用品やアピランスケアなどに対して助成があれば嬉しいです。

## ■ 40代・女性

早期発見だった為、現在のところは日常生活を送れています。ただ定期受診や服薬も必要なため経済的面で不安が多い。仕事もできている状態なので、社会保障の制度は利用は難しいのかと思っています。軽度の病状であっても受けられる制度があればありがたい。

---

## ■ 40代・女性

おかしいな？と思った時にがん検診を受けようかと調べたら自覚がある場合は受けられないと表記があり、仕事が忙しかった事や乳腺外科ってどこに行けば良いのかアテが無かった等で先延ばし会社の健康診断でも指摘されずで別件で行った皮フ科で言われて発覚しました。自覚あるならさっさと自力で病院行けという意図なんだろうとは思いますが、「受けられない」と表記するのはちょっとどうかと思います。現にそれで数年受けませんでした。で、手術不能のステージ4です。自覚があっても確証がないのに病院に検査ってハードル高いので、がん検診のハガキに制限かけるような表記をするのはやめた方がいいと思います。

---

## ■ 40代・男性

治らないと言われており、毎週病院に行く必要があります、お金がかかる。収入も減るため、生活が大変。何かしらの支援があると助かる。

---

## ■ 40代・女性

がんになってからどうしても気になるのが「体に取り込まれるもの」である食品や水のこと。無農薬の野菜を買ったり、加工肉を減らしたりしている。これががんになった理由だとは思わないが、やはり心配なのは子どもたちのことで、今の子は私たちよりリスクの多い食生活になっているのではないかと心配になる。国として県として、よりよい農業の発展に力を入れていただけると嬉しいです。

---

## ■ 40代・女性

●歳女 がんレベル4 らんそうがんと診断されて今年の9月10日で丸6年日本は誰でも治療を受ける事が出来て、日々医療が進んでいるおかげで薬もあり、薬が体に合っているおかげでしゅようマーカーも下がり、周りの健康な人と何も変わらない生活を送る事が出来ています。仕事、子育て、ちりょうと日々忙しくしています。先の事は誰にもわかりません。常にかかりつけの病院の先生方がしっかりサポートしてくださってる事がとてもありがたく感謝しています。

---

## ■ 40代・女性

治療を決めていく中でドクターがもう少し就労している立場を理解して対応してほしいと思う場面があった

## ■ 40代・女性

行政が行う、がん検診（＝安価な）の乳がん検診はマンモグラフィだけなのでエコーも加えてほしい。私は、マンモをして2ヶ月後に自分でしこりを見つけました。エコーがあればもっと早期に発見できていたと思います。（マンモが入らないところだったので）主治医からは相談窓口や緩和ケアの説明はなかった（冊子には書いてあったと思うが）利用していいのか、ステージが低かったから、高い人が優先されるのか…とか悩んだ。気軽に利用できる声かけをしてほしかった。ウィッグ購入で市の助成金10,000円をうけられました。もう少し金額をふやしてほしい。他にもいろいろお金がかかるので。

---

## ■ 40代・女性

がんの告知を受けてから、分からない事悩んだ事がたくさんありました。診察の度に状況が変わり気持の浮き沈みがあり、気持ちが追いつかなかった。相談支援センターがあるのは知っていたが、分からない事が多すぎて整理できず、利用しなかった。もっと身近に相談できる場所がほしかった。

---

## ■ 40代・女性

●●病院でお世話になりましたが先生、看護師さん皆様本当に優しく寄り沿って頂きました。心より感謝しています。お話もていねいに聞いて下さり気持ちもすごく楽になったように思います。素晴らしい先生方でした。

---

## ■ 40代・女性

産後6ヶ月でがんが発覚し、私はこのまま死んでしまうんだろうかと不安いっぱいでしたが、幸い、発覚から手術、抗がん剤治療開始まで2～3週間怒涛の日々を過ごし、病院スタッフ、家族の支えで今は前向きに80才まで生きる、孫の顔まで見るぞ！という気持ちになっています。術後6クルの化学療法がそろそろ終わろうとしており、日々がたつの早さに驚きながら、これからの維持療法への不安も感じています。若くしてがんになってしまったので、再発をくり返しながらになる可のう性は高いと思いますが、絶対治る、娘（現在は9カ月）のために長生きしてみせる！という前向きな気持ちで治療をすすめ、がん向き合っていこうと思います。がん患者に優しい行政になりますように。治療費大変です（笑）

---

## ■ 40代・女性

乳がんになり体験した事をいろんな人に伝えていき検診の大切さや早期発見の大切さを教えていきたいです。

### ■ 40代・女性

全ての生活がかわってしまった。治療して頂いて本当に助かりましたが、今だにセカンドオピニオン受けてみたい気持ちもあります。毎日が再発への不安があり、体も辛く仕事に100%でいけてない。これから従業員に迷わくをかけつづけると思うと、いたたまれない。相談ということは今までしてこなかったのが、たよれる人がいない。

---

### ■ 40代・女性

私は乳ガンでした。先生とマンモグラフィは女性でした。ただ放射線治療を受けた時に男性でした。診察、マンモ、手術とすべて女性の方々だったので当然女性の方だと思いこんでいました。ですが、ほとんど男性の方でものすごく抵抗がありました。病気の治療なので仕方がない、女性の技士さんが少ないということも分っていますが、放射線治療まで女性の方で徹底していただけたら心の持ちよう、ストレスが軽減されます。差別的かもしれませんが、デリケートな部分のため今後、改善していただけたらと思います。

---

### ■ 40代・女性

保険対象の治療がもっと増えるとよい 抗がん剤より安全な治療を促してほしい（薬を売りたいのはわかるが、もっと違う法方で病院がもうかる仕組みはないのか？）

---

### ■ 40代・女性

しこりを見つけた時は不安ですぐにでも病院に行きたかったが完全予約制の病院ばかりで診察までに日がありますます不安な日々だった。治療を開始してからは、大変なこともあったが、病院の方に色々アドバイスをもらいながら過ごすことができた。特に抗ガン剤室の看護師さんには助けももらった。今もベージニオを服用しているが、もう少し金額が安くなると助かる。

---

### ■ 40代・女性

がんになると、たくさんお金がかかるので国・県による金銭的支援をお願いします。

---

### ■ 50代・女性

なってしまったのはもう仕方がないのでなるべくよくよせず、前向きにツライ治療にもたえましたが、そういう気持ちも大切だなと思いました。II Bからフル治療し、4年、今では、まわりも私がガンだった事を忘れる程です。このまま元気に生活できるといいなと思っています。

## ■ 50代・女性

勤務先への説明が、大変。ガンになった事、ガン治療（抗ガン剤治療）の副作用の説明も、むづかしい。いつ仕事ができるのか？とくりかえし聞かれ、どう説明したものか、すごく困った。ガンになった事が無い人への説明が大変。ガンになって知った事、副作用の大変な事、いろいろと考えさせられた。

---

## ■ 50代・女性

職場の健康診断で、乳がんがわかり、手術、化学療法、放射線を行い、ホルモン治療中です。通院時には先生に、何を聞けば良いかを、まとめておかなければ、なかなか何を聞いて良いかわからず、又、当時コロナ禍で患者サロンなども、中止されていたので、化学療法の副作用への対策や、日々の悩みは、ネット検索で解決することが多かったです。ネットでの情報は、全てを信用するのは良くないと思いつつも、女性特有のがんのSNSで、当事者同志の情報交換で、むしろ楽しく、運動なども取り入れ、乗り越えられました。がんサロンや、信用のできるSNSの紹介などを、進めてほしいです。

---

## ■ 50代・女性

5月に乳がんが見つかり、6月に手術、7月に放射線治療を経てホルモンの治療をしています。体調に波があり、仕事への復職、日常生活など、今までできていたことができないことが多く歯がゆい思いがあります。この状態がいつまで続くのかと、不安にもなります。医師からは普段通り過ごして良いと言われたものの日々の過ごし方に不安を感じる人が多いです。

---

## ■ 50代・女性

いつ転移や再発するかの不安は常にある。検査は先生から指示された通りに受けようと思っている。現在先生からは10年は薬を飲み続けるように言われているが、10年たってやめた時に再発しないか不安。飲み続けていいなら飲みたいと思う。

---

## ■ 50代・女性

がんと診断され、その後はもう検査や手術、治療とスピードが速く、こちらも調べたり、勉強（がんの事）する事もないので 無知で何も知らずに始まります。先生とはもちろんお話はしますが、忙しい中の限られた時間ではあれこれ話もできません。気軽に色々な事を聞ける何かがあると不安も少なくなるのではと思います。子育ての中での治療への不安、金銭面の不安、生きて行く不安にか吐き出せる事があれば精神も落ちつくと思います。

### ■ 50代・女性

まだ余命宣告はされていない。そのため、日々を落ち込んですごすより、前を向いて生活しようと思い、継続している。仕事も抗がん剤の翌日、翌々日のみ有休を取っている。先の間にも書いたが、職場の中には風当たりのつよい人もおられ、しんどくても笑顔で仕事する時もある。「ガン」と診断され約2ヶ月休ませて頂き、職場復帰した時、その日に会社のトップに「今週はゆっくりさせて下さい」と願いしたが、その次の日、会社のトップ、その次の方に呼び出され「長期に休んでいたんだから、今日から以前と同じ様に働いて下さい」と言われた。この事が有り、しんどくても笑顔で仕事をしている。うちの会社だけなのか、世の中の会社全てそうなのか？そう思うとこわくて転職もできない。今の会社は長年勤めており、収入もそこそこあり、それも有って転職できない。

---

### ■ 50代・女性

今、SNSやブログなど、がん患者さんが更新しているものがたくさんありますが、私もはじめたくさん検索していましたが、あまりにもたくさんの情報があふれすぎており、心が逆にしんどくなりました。病院の先生や看護師さんからもこのガン情報は見てもいいけど、（学会がだてるようなHP）他のものはみなくてもいいよとアドバイスしてもらいました。それ以降、検索する事はやめて楽になりました。SNS時代だからこそ、若い方にはあまりインターネットを見過ぎない事をおすすめしたいし、そのようなアナウンスがあっても良いのではないかと思います。

---

### ■ 50代・女性

毎年人間ドックを受診していたが、体調不良で病院を受診したら即入院という状況でした。職場の人にも迷惑をかけたし、家族にも心配かけて迷惑もかけましたが、医療者の皆様のおかげで現在は元気に過ごせています（5年前に乳がんにもなりましたが…）。特に最初のがんの時の担当先生が「治してあげる」と心強い言葉を掛けて頂き、光が見えました。専門医の育成には期待しています。

---

### ■ 50代・女性

乳がん検診では見つけれなかったのですが、別の病院で治療ができました。場所によっては発見できないがんもあると思いますが、私の場合相談した先生が別の病院へ予約をしてくれたおかげで発見につながりました。診断に異和感を感じたのがその後の治療にいきっかけでしたが、普段から病院に行くきっかけがないと難かしかったと思います。術後は思ったように体は戻りませんでした。痛みは人それぞれで伝わりにくいですが、痛みがあっても動いていい範囲など日常生活の指導やリハビリ等、自己チェックできたらもっと安心して生活できたかなと思いました。

### ■ 50代・女性

まだ治療中なので、この後どうなっていくのかわかりませんが例えば、市町村のHPから滋賀県のがん情報にいけるシステム（バナーなど）を作成してもらおうとか、各市町村でがんになった時の支援や手当が一目でわかるようにしてほしいです。自分でウィッグの助成金や緩和ケアなど1つずつ検策して探していったので、わかり易いシステムにしてほしいです。そこで色々な信用できるサイトをおすすめしてもらったりできれば助かります。助成金に関しても友人に聞いて知りましたし、冊子があるのも、再発してから知りました。がんになってから、毎日ネットなどで調べているのにも関わらず、です。病院・市町村・滋賀県・ハローワークなどがそれぞれに提示していても、うまく見つけるコトができません。少しでも“がん”と言われた時の様々な不安を1つでも解消できるシステムをお願いします…早急に。こちらはどんどん進行していくので。

---

### ■ 50代・男性

医療費（特に薬）が高額。金がない人には命をあきらめろと言ってる様なもの。国が弱者に寄りそっていない。

---

### ■ 50代・女性

とにかく金額が高い。いつ治療をやめようか？と毎回考えて今日すごしていますがこの先再発転移などあれば治療出来ない

---

### ■ 50代・女性

●●(病院名)で急性期だけでなく回復期や生活期のリハビリが受けられるようにしていただきたいです。又、どのようなリハビリをして欲しいのかの患者の要望を聞くように回復期リハビリの病院へ指導をしていただきたいです。

---

### ■ 50代・女性

ガンは怖い病気です。ガンと診断されたら、不安になりますし、分からないことを知りたいと思うのは当然で、自分でも調べますが、先生にもたくさん質問します。限られた診察時間の中で聞くのは難しいですが、あまり長く時間を頂くのは先生にも申し訳なく感じます。一人の先生が、たくさんの患者さんを受け持っていていらっしゃいます。土日にも様子を見に来て下さいました（手術入院中）。患者の自分が言うのもおかしな事ですが、先生方の体も心配してしまう程、大変な毎日と感じます。医師を目指す方が、もっともっと増えてくれることを、心から願っています。看護師さんも、検査技師さんも医療に関わる方達が働きやすい環境になりますように。

### ■ 50代・女性

抗ガン剤の副作用にはかなり苦労しました（肺炎で入院したので）が、しんどいのはこの1年。この先長く生きていくために1年耐えてきた感じ  
です。ガンという病を当初は重く感じてましたが、主治医のD r. から（いい意味で、重くさせないように）軽く、端的に伝えてくれたことで気  
楽になれました。アピアランスケアに対する補助の充実を望みます。

---

### ■ 50代・女性

私は、今治療中ですが がん患者だと分からないぐらい元気に暮らせています。いつも思うのは この時代にがんになって命が助かったことが  
ラッキーだったと思っています。医療技術の進歩、薬の開発などひと昔前は助からなかった命が今ではたくさん助かっていると感じています。病  
院の先生、看護師さん、をはじめ みなさんに優しくしていただいたことが辛い治療を乗り越えられた理由です。現在も治療で通院中ですが嫌な  
思いをしたことはありません。すばらしい病院に出会えてよかったと思っています。医療従事者の方々が働きやすい環境で人手不足が改善される  
ようになればいいなと心から願っております。

---

### ■ 50代・女性

がんに関する十分な説明と、納得の治療であれば、前向きに考え、生きる希望が、わいてくるかも知れないと思います。深く考えない様に自分を  
守ったつもりだったが、身体は正直で、耳が半分聞こえなくなり、不自由になった。逆に日々、精一杯生きようと、思うようになったと思う。

---

### ■ 50代・女性

健康診断を受けても、診察する医師の力量不足がある。医療従事者同志がかばい合う姿に腹立たしい。セカンドオピニオンについては、パンフ  
レットに記載されていることに何ら変化はないと思われます。

---

### ■ 50代・女性

再発した時、治療できる病院を探していただいたりして助かりました。高額な薬の時でも、なかなか限度額まで届かないですが、引き上げられる  
かと思うと不安です。

### ■ 50代・男性

がんと診断がされ、治療が始まってから週2回は、心のケア、体に関する事を聞いてもらえる時間を作ってほしい。自分が世話になった●●センターは、医師、看護婦さんともいい人が多く心配ながらも過ごせましたが…やはり一日中病室の中だと気持ちがまいります。なのでお話し相手ではありませんが不安な気持ちを和らげてもらえる時間を作ってほしいと思いました。

---

### ■ 50代・女性

悔やむ事はたくさんあるけど今を大事に生きる事の大事さがわかった。周りの支えもすごく感謝している。自分の足と手が使える事の幸せを忘れずにせいっぱい生きようと思っています。

---

### ■ 50代・男性

正直がんと分かった事で大きく何かを変える事は無いかと思っていたがこれ以上病気にならない努力が必要だと感じてます。会社の健診でがんを見つけてもらった事は感謝してます。今後自分がどの様に生きていくかを考えさせられました。

---

### ■ 50代・女性

抗がん剤治療により脱毛した時の医療用ウィッグの補助金が少ないと思います。

---

### ■ 50代・女性

自分とは全く縁がないと思っていたので未知の領域だったがんの世界が現れ、告知を受けた日からがん患者としての人生がスタートした。お先は真っ黒だったが、何か抜け道はないかとインターネットや、サバイバーの友人に相談にのってもらい、現在に至る。自分の出来る情報収集を行い、治療の方法や治験についてなど仕事のかたわら、勉強しまくった。現在の治療も主治医と納得いくまで話をした。（少々面倒がられているかもしれない患者だ。）毎日を大切に。周囲の方々に感謝し、神仏を、祈る。チャンスあれば推しアーティストのライブやイベントに参加し、病気の事は忘れて楽しく生きている。仕事を辞めたりせず、充実した人生にし終れるよう、願っている。

---

### ■ 50代・女性

ガン治療を受けて1年ですが、あまり進歩がないので毎日の生活が波があり、家事など料理などは、主人まかせで横になっている事が多い。少し動くだけで冷や汗が出て、毎日タオルを何枚も洗濯する状態。血圧も安定せず低いままで、ふらつき入浴などは一人の時は入れず採血や点滴も血管が細いので何回か指しなおしがあつたりで青黒くなり困っている。

### ■ 50代・女性

がん治療においてかなり高額な費用がかかることにおどろいた。又、治療期間も長くなる事を知りました。費用に関して何かしら支援を希望します。

---

### ■ 50代・男性

治療費の支援について、対応してもらいたい。

---

### ■ 50代・女性

●●●●病院の婦人科の先生方、看護師さんには、大変お世話になり、感謝しております。先生のお陰で、周りの方々に助けを求めて生活するようになり、今までの日常と同じ生活なのに、時間が有限であり、日々を大切にすごすようになりました。まだまだ再発の不安があって押しつぶされそうになる時もありますが、楽しいこと、やりのこすことがないように、すごしてます。2月に講演された高野Dr.の話もとてもよかったです。

---

### ■ 50代・女性

自営、夫婦で家業を営んでおり、私のがんになった為夫1人で仕事をする事になりかなり負担がかかる。抗がん剤治療をした1週間は、どうしても身体がキツイので動けないがなんとかマシになってくると仕事に入らないとダメな気持ちになりムリして2週間動く。精神的に辛い（3週間に1回の抗がん剤点滴治療）信頼していた主治医が治療途中で転勤になられかなり辛い。これから先、変わる担当の先生と上手にコミュニケーションがとれるか何でも話せるかかなり不安。